

市民活動支援センター文化祭開催 体験型イベントなどでにぎわう

7月28日、市民活動支援センター文化祭体験フェスが開かれました。同文化祭は、センターに登録する団体の活動を広く知ってもらおうと開催されたもので、今回で2回目。工芸体験などができるブースや演奏や人形劇などのステージイベント、野菜や工芸品の販売など、さまざまな催しが開催され、多くの来場者でにぎわいました。



竹細工同好会の会員に竹の風車の作り方を教わる子どもたち。この他にも、茶道や小物製作、陶芸体験など、さまざまな体験ブースが設けられました

西諸支部消防操法大会で 第1分団第5部が見事優勝

7月28日、西諸支部消防操法大会がコロナ禍などを挟み6年ぶりにえびの市の水辺の楽校で開催されました。本市からは、7月7日の市消防操法大会ポンプ自動車の部で優勝した第1分団第5部（真方地区等）が出場。猛烈な暑さの中の大会となりましたが、団員は練習の成果を十分に披露して見事優勝を果たし、県大会出場を決めました。



気温30度を越える暑さの中でも、指揮者の号令に従い規律の取れた見事な動きを披露した団員たち。次は8月24日に開催される県大会に出場します

地域連携で夏休みの思い出づくり 三松地区の祭り「ナイトイン三松」

7月20日、三松小学校でナイトイン三松が開催されました。児童や保護者と地域、学校をつなぎ、学校への愛着を育てることを目的に、地域の祭りとしての定着化を目指して同校PTAとチームみまつ協働体と連携して開催。当日は千人を超える人が来場し、ステージイベントや屋台など、学校で開かれた祭りを楽しみました。



イベントの最後には、イベント会場の体育館でプロジェクションマッピングが行われ、色鮮やかに飾られた会場に来場者の感嘆の聲が響き渡りました

小林市・高原町・小林警察署で連携 安全運転 SuDDO 運動を推進

7月23日、小林市・高原町・小林警察署の3者が「安全運転 SuDDO 運動連携協定」を締結しました。SuDDOとは、西諸弁「～すっど」に掛けて、事故防止のために注意すべきポイントなどの頭文字など※を表したもの。今後、市と町は来庁者へ、警察は巡回連絡などの機会に地域住民に対して周知を図るなど、運動を推進していきます。



※ Su…スマート運転（環境や状況にあわせた適切な動作）、D…ダイヤモンドマーク前減速、D…ディフェンス防衛運転（かもしれない運転）、O…交通事故0

地域共生社会の実現のために 第1回地域づくり福祉大会を開催

8月17日、第1回地域づくり福祉大会が開かれました。多様化、複雑化が進む地域福祉をめぐる課題を共有し、住民相互の助け合い活動を行う福祉協力員の委嘱を行い、本市の地域福祉の充実を図ることを目的に社会福祉協議会が開催したものです。参加した地域福祉関係者ら約230人は、地域で支えあう福祉のまちづくりへの理解を深めました。



地域を見守る福祉協力員の委嘱状交付式のほか、「住み慣れたこの地で生きる」を題目とした九州大谷短期大学の中村秀一教授の講演が行われました

小学生の発表がきっかけで誕生 新商品「すきメンマ」で地域課題解決

8月6日、須木の新たな特産品「すきメンマ」のお披露目会がありました。開発は、須木小学校児童3人（現在は中学生）の放置竹林問題についての発表がきっかけ。発表を聞いた地域商社(株) Bridgethegapの青野雄介代表が課題解決と特産品創出につなげようと、延岡市でメンマの製造・販売を手掛ける会社に相談し、商品化が実現しました。



メンマは、ピリ辛ラー油味とコチュジャン味のおむすびとして、すきむらんど内「おこめ処お結びや」で提供中。後日、メンマ単品でも販売予定です

戦争を起こさないため何ができるか 小林小で学童疎開学ぶ紙芝居

8月1日、小林小学校で戦争に関する紙芝居の読み聞かせが行われました。戦争を身近に感じ、平和の大切さを学んでほしいと企画されたもので、紙芝居は同校が太平洋戦争中に宮古島からの学童疎開を受け入れていた実話を基に、沖縄県の宮古島市総合博物館が制作。子どもたちは戦時中の厳しさが描かれた物語に見入っていました。



6年の温水華蓮さんは「親と離れての生活は大変な苦労だったと思う。平和に感謝し、戦争を起こさないために何ができるか考えたい」と話しました

約300年継承されてきた岩戸神楽 「長刀の舞」など勇壮な舞披露

7月30日、岩戸神社（堤地区）で岩戸神社六月灯がありました。はじめに神事が行われ、続いて岩戸神楽保存会（田原治男会長）が、約300年継承されてきた岩戸神楽を奉納。同神社の祭神タヂカラオノミコトにちなむ「天の岩戸開き」、勇壮な「剣の舞」、「長刀の舞」の3番が披露され、会場からは大きな拍手が送られていました。



「長刀の舞」の最後に舞い手がのれん縄を長刀で切ると、会場からは大きな拍手が。神楽奉納後は、せんぐまきや婦人会による踊りなども行われました

まちあるき×ボランティア

8月10日、小林市ボランティア連絡協議会が「まち歩き」と「ごみ拾い」を掛け合わせたボランティア活動を行いました。活動には市内の小中高生や区長など約60人が参加。環境美化に汗を流しながら幅広い世代が交流を深めました。



世代や立場を越えた交流の場 「すこっぷハウス」で心理学講座

8月10日、心理カウンセラーの鍵野正則さんを招き、「育児・夫婦・人間関係に役立つアドラー心理学」をテーマにした講座が開かれました。鍵野さんは、アドラー心理学の基本となる理論などについて具体例を踏まえて解説。現在抱えている問題への考え方などについての質問も出るなど、参加した25人は熱心に耳を傾けていました。



講座が開かれた「すこっぷハウス」は、世代や立場を越えてさまざまな人が交流できる居場所として昨年8月に整備。今後も毎月講座が予定されています

地域包括ケア推進サポーターを養成

8月1日、中央公民館で地域包括ケア推進サポーター養成講座が開かれました。全3回の最終日となった講座では、ヒューマン工房 待木美奈子代表を講師に招いた講演や各地区サポーターの活動紹介の後、参加者に修了証書の授与が行われました。



「働く」を学ぶバスツアーを開催

8月6日、租税教室バスツアーが（公社）小林法人会青年部主催で開催され、小林高校生16人が参加しました。宮崎市のa-project株式会社や株式会社サザンクロスシステムズを訪問。施設を見学したり実際に働く人たちの話を聞き、「働く」ことへのイメージを膨らませました。



ゆ〜ぱるのじりで能登応援フェア

8月10日から、道の駅ゆ〜ぱるのじりで令和6年度能登半島地震復興支援を目的とした「がんばろう！能登応援フェア」を開催されました。野尻町商工会と能登町商工会の連携により実現したもので、能登町のお酒や加工品などの特産品販売が行われました。



一貫性・継続性ある小林教育を実現 教職員ら対象の教育フォーラム開催

7月31日、文化会館で市内小・中学校教職員などを対象に教育フォーラムが開かれました。教育の現状や課題を把握し一貫性・継続性のある教育を実現するためのもので、今年度はキャリア教育がテーマ。日本電気株式会社の大工原忠相さんの講演や、「子どもたちの未来を切り拓く小林のキャリア教育」をテーマにしたトークセッションも行われました。



トークセッションでは、学校と地域との協働の重要性や小・中学校の先生同士でゴールを共有し連携していく必要性などについて意見が交わされました

市内中学校部活動



全国中学校体育大会

【個人競技】(学年) ※敬称略

▼小林中学校陸上駅伝部

内村凌 (3年) / 田中優哉 (2年)

▼三松中学校陸上部 脇田蓮矢 (3年)

九州中学校体育大会

【団体競技】

▼小林中学校男子バスケットボール部 ▼小林中学校男子ハンドボール部 ▼小林中学校新体操部 ▼三松中学校男子ハンドボール部 ▼三松中学校女子ハンドボール部

【個人競技】(学年) ※敬称略

▼小林中学校陸上駅伝部

内村凌 (3年) / 富満丈積 (3年) / 若松幸音 (3年)

田中優哉 (2年) / 小川内優駿 (2年)

田畑李心 (3年) / 奥原楓 (3年) / 河島椿 (2年)

新倉佐彩 (2年) / 佐々木菜都 (2年) / 肥後来美 (1年)

上甕飛鳥 (1年) / 黒木莉衣沙 (1年)

▼三松中学校陸上部 脇田蓮矢 (3年)

ー全国・九州大会への意気込みー

・小林中学校男子バスケットボール部 松田颯音さん (3年)「九州大会では一戦一戦を大切に勝ち上がり3位以内に、全国大会出場を目指します」

・小林中学校新体操部 (男子) 中原颯思さん (3年)「支えてくれた人々への感謝の気持ちを忘れず全力で演技したい」 / (女子) 増田心愛さん (2年)「初めての九州大会。一人一人がベストを尽くして頑張りたい」

・小林中学校陸上駅伝部 富満丈積さん (3年)「九州大会では男子総合優勝を目標に、一人一人が個々の自分越えができるように頑張りたい」

・小林中学校男子ハンドボール部 下村佳久さん (3年)「最終目標である全国大会出場に向けて、まずは九州大会でベスト4を目指し、全員で協力して頑張りたい」

・三松中学校陸上部 脇田蓮矢さん (3年)「九州大会では優勝。全国大会では決勝進出を目指し、頑張ります」

・三松中学校男子ハンドボール部 轟木連千さん (3年)「このチームでプレーできることに誇りを持ち、最後まで諦めず全力でプレーし全国大会に出場します」

・三松中学校女子ハンドボール部 塚田愛璃さん (3年)「県代表の誇りを持って全力でプレーします」

九州大会・全国大会に出場する市内団体が宮原市長を表敬訪問 宮崎県代表の誇りを胸に、大会での活躍を誓う

各種県大会を勝ち抜き、九州大会や全国大会に出場を決めたスポーツ少年団や中学校部活動の選手たちが宮原市長を表敬訪問。県大会の報告と上位大会への意気込みを話し、市長が激励しました。

市内スポーツ少年団



①小林 JVC ②小林ハンドボールドスポーツ少年団
③小林男子バレーボールドスポーツ少年団 ④小林伝志館道場
⑤永久津少女バレースポーツ少年団

小林 JVC

6月に開催された第44回全日本バレーボール小学生大会宮崎県大会 (混合の部) で優勝し、8月6日から9日まで東京都を中心に開催される、第44回全日本バレーボール小学生大会全国大会に出場します。福元大雅さん (小林小6年) は「精一杯プレーし、全国制覇をすることが目標」と意気込みました。

小林ハンドボールドスポーツ少年団

6月に開催された第35回宮崎県小学生新人ハンドボール大会兼第37回全国小学生ハンドボール大会予選大会で男子の部・女子の部ともに優勝し、8月1日から4日にかけて京都府で開催される第37回全国小学生ハンドボール大会に出場します。男子の部に出場する南優之介さん (小林小6年) は「県の代表として自覚を持ち、チーム一丸となって頑張ります」、女子の部に出場する柳田愛叶さん (南小6年) は「全国大会では声出しとディフェンスの間を固めることを頑張り、優勝を目指します」とそれぞれ大会への想いを話しました。

小林男子バレーボールドスポーツ少年団

6月に開催された第44回全日本バレーボール小学生大会宮崎県大会で3位となり、8月23日から25日にかけて佐賀県で開催される2024年度名鉄観光カップ第39回全九州小学生バレーボール優勝大会 inSAGA に出場します。内嶋琉海さん (南小6年) は「九州大会で上位を目指し、みんなと全力で頑張りたい」と話しました。

小林伝志館道場

6月に開催された第39回宮崎県少年剣道錬成大会で勝ち上がり、7月30日に東京都で開催される第58回全国道場少年剣道大会 (小学生の部) に出場します。上原杏夏さん (三松小6年) は「得意技の胴を中心に試合を組み立てて、昨年の先輩たちと同じ3試合まで残ることが目標。保護者や先生に良い報告がしたい」と話しました。

永久津少女バレースポーツ少年団

6月に開催された第44回全日本バレーボール小学生大会宮崎県大会で3位となり、8月23日から25日にかけて佐賀県で開催される2024年度名鉄観光カップ第39回全九州小学生バレーボール優勝大会 inSAGA に出場します。黒仁田夕莉さん (永久津小6年) は「みんなで心を合わせて、優勝目指して頑張りたい」と話しました。